

ふ し こ 寮

平成24年4月に帯広盲学校の寄宿舎と、隣接する帯広聾学校の寄宿舎が統合され、視覚障がいや聴覚障がいを有する幼児児童生徒を受け入れる寄宿舎となりました。

「ふしこ寮」という名称は、寄宿舎の建っている場所が、1900年代初期に「^{ふしこ}伏古村」と呼ばれていた地域だったことが由来となっています。

寄宿舎の様子

自宅からの通学が難しい子どもたちのための生活の場として寄宿舎があります。現在、本校では4名の子どもが入舎しています。

寄宿舎では、規則正しい生活を通して生活リズムを整え、集団生活を送りながらルールやマナー、基本的な生活習慣を身に付けます。

また、遊びや行事などを通して友達とのコミュニケーションを図り、互いに成長していく場となっています。

令和2年度からは帯広盲学校・帯広聾学校の通学生を対象に、将来に向けて生活の力を高めるために、寄宿舎での生活を体験できる機会として、下校から翌朝の登校まで寄宿舎の日課を宿泊して体験する「宿泊体験」や、下校から夕食前（17時）、または夕食後（19時）まで寄宿舎の日課を体験する「放課後在舎体験」の取組を始めました。

寄宿舎の年間活動

	行 事
4月	おたのしみ会
5月	第1回避難訓練
7月	七夕週間、夏まつり
8月	誕生会
9月	第2回避難訓練
10月	ハロウィン祭
11月	第3回避難訓練
12月	クリスマス会
2月	誕生会
3月	ひなまつり、卒業と進級を祝う会

※令和7年度の年間行事については、舎生の在籍状況により変更や延期をする場合があります。